



# 沖縄地区税関 管内貿易概況（速報）

令和3年11月分

※税関は来年150周年を迎えます。

（増減・伸率は対前年同月比）

## ●今月のポイント

### ●輸出

・**輸出総額は54億92百万円、対前年同月比3.7倍（3ヵ月連続の増加）**

- ・主な増加品目は「石油製品」（全増）、「鉄鋼」（全増）、「金属鉱及びくず」（2.8倍）  
（主な減少品目は「輸送用機器」（▲62.3%）、「魚介類及び同調製品」（▲93.2%）、「その他の化学製品」（▲96.4%））
- ・国（地域）別構成比はオーストラリア（61.8%）、中国（9.2%）、韓国（7.3%）、台湾（4.3%）、香港（3.7%）

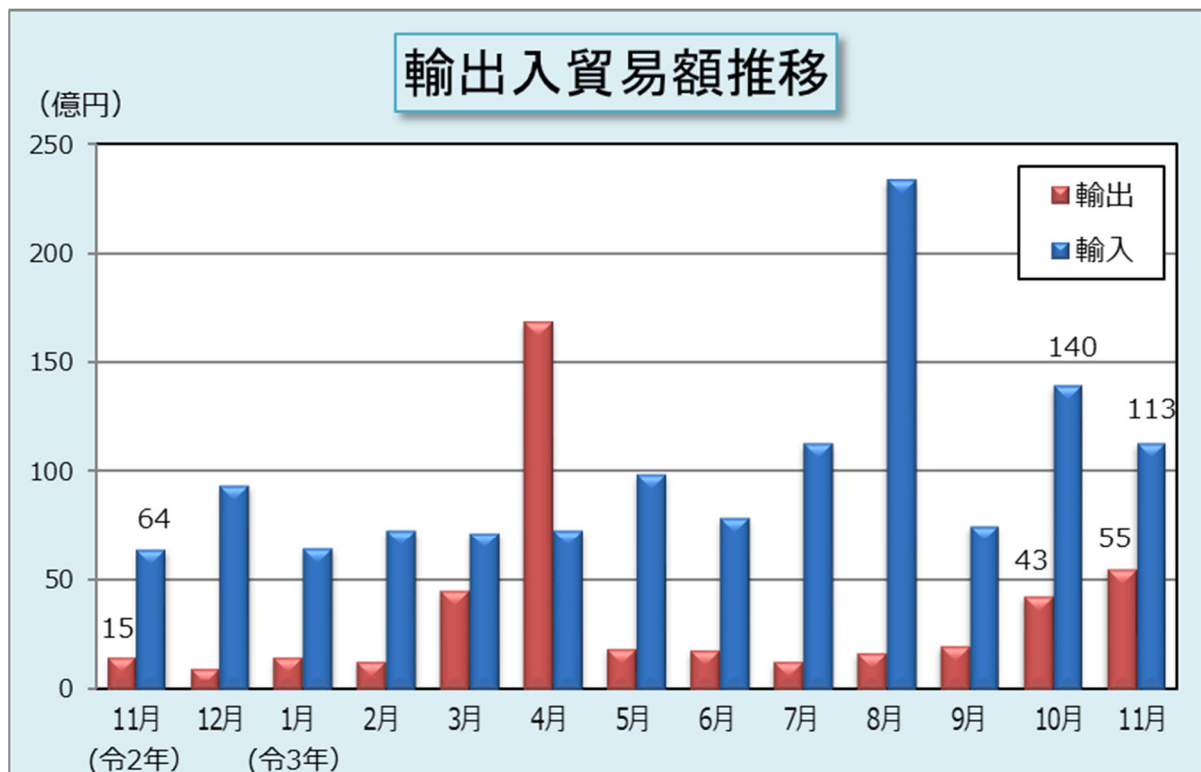
### ●輸入

・**輸入総額は112億52百万円、対前年同月比76.1%増（2ヵ月連続の増加）**

- ・主な増加品目は「石油製品」（390.0倍）、「石炭」（3.0倍）、「その他の動植物性原材料」（28.3倍）  
（主な減少品目は「一般機械」（▲69.7%）、「穀物及び同調製品」（▲39.1%）、「輸送用機器」（▲67.6%））
- ・国（地域）別構成比は中国（32.8%）、オーストラリア（16.2%）、アメリカ（8.7%）、インドネシア（7.6%）、イタリア（3.0%）

### ●差引

・**差引額は57億60百万円の入超（前年同月は49億18百万円の入超）**



## 1. 輸出動向

### (1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 石油製品 (33億73百万円、全増)	61.4%	オーストラリア(33億73百万円、全増)
2 鉄鋼 (4億61百万円、全増)	8.4%	中国(4億61百万円、全増)
3 金属鉱及びびくず (4億11百万円、2.8倍)	7.5%	韓国(3億61百万円、9.2倍) 香港(30百万円、2.7倍)
4 一般機械 (3億66百万円、▲2.4%)	6.7%	アメリカ(88百万円、5.5倍) カナダ(63百万円、2.2倍)
5 パルプ及び古紙 (2億66百万円、2.1倍)	4.8%	台湾(1億67百万円、3.6倍) インドネシア(48百万円、9.6倍)
<p><b>増加品目(増加額・伸率)</b> <span style="float:right">主な増加国(地域)</span></p> <p>1 石油製品(+33億73百万円、全増) <span style="float:right">オーストラリア</span></p> <hr/> <p>2 鉄鋼(+4億61百万円、全増) <span style="float:right">中国</span></p> <hr/> <p>3 金属鉱及びびくず(+2億62百万円、2.8倍) <span style="float:right">韓国、香港</span></p> <hr/> <p><b>減少品目(減少額・伸率)</b> <span style="float:right">主な減少国(地域)</span></p> <p>1 輸送用機器(▲1億61百万円、▲62.3%) <span style="float:right">台湾、アラブ首長国連邦</span></p> <hr/> <p>2 魚介類及び同調製品(▲58百万円、▲93.2%) <span style="float:right">グアム、香港</span></p> <hr/> <p>3 その他の化学製品(▲32百万円、▲96.4%) <span style="float:right">ラトビア</span></p> <hr/>		

### (2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 オーストラリア (33億91百万円、104.7倍)	61.8%	石油製品(33億73百万円、全増) 一般機械(11百万円、▲58.4%)
2 中国 (5億6百万円、23.3倍)	9.2%	鉄鋼(4億61百万円、全増) 一般機械(33百万円、4.2倍)
3 韓国 (4億円、5.2倍)	7.3%	金属鉱及びびくず(3億61百万円、9.2倍) パルプ及び古紙(19百万円、▲16.4%)
4 台湾 (2億38百万円、▲32.0%)	4.3%	パルプ及び古紙(1億67百万円、3.6倍) 一般機械(27百万円、▲18.4%)
5 香港 (2億4百万円、▲28.4%)	3.7%	肉類及び同調製品(72百万円、3.0倍) 再輸出品(49百万円、▲67.4%)

## 2. 輸入動向

### (1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 石油製品 (25億21百万円、390.0倍)	22.4%	中国(23億53百万円、全増) 韓国(1億68百万円、26.0倍)
2 石炭 (22億81百万円、3.0倍)	20.3%	オーストラリア(16億92百万円、2.2倍) ロシア(2億98百万円、全増)
3 肉類及び同調製品 (8億50百万円、2.3%)	7.6%	デンマーク(1億76百万円、11.3%) スペイン(1億57百万円、34.0%)
4 その他の動植物性原材料 (7億37百万円、28.3倍)	6.5%	インドネシア(7億4百万円、全増) 台湾(17百万円、▲9.8%)
5 その他の雑製品 (5億21百万円、53.0%)	4.6%	フランス(1億56百万円、4.5倍) 中国(1億32百万円、▲22.0%)
<p><b>増加品目(増加額・伸率)</b> <span style="float:right">主な増加国(地域)</span></p> <p>1 石油製品(+25億14百万円、390.0倍) <span style="float:right">中国、韓国</span></p> <hr/> <p>2 石炭(+15億26百万円、3.0倍) <span style="float:right">オーストラリア、ロシア</span></p> <hr/> <p>3 その他の動植物性原材料(+7億10百万円、28.3倍) <span style="float:right">インドネシア</span></p> <hr/> <p><b>減少品目(減少額・伸率)</b> <span style="float:right">主な減少国(地域)</span></p> <p>1 一般機械(▲4億45百万円、▲69.7%) <span style="float:right">ドイツ、アメリカ</span></p> <hr/> <p>2 穀物及び同調製品(▲1億75百万円、▲39.1%) <span style="float:right">タイ</span></p> <hr/> <p>3 輸送用機器(▲1億33百万円、▲67.6%) <span style="float:right">中国</span></p>		

### (2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 中国 (36億85百万円、2.4倍)	32.8%	石油製品(23億53百万円、全増) 電気機器(1億70百万円、▲39.6%)
2 オーストラリア (18億26百万円、2.1倍)	16.2%	石炭(16億92百万円、2.2倍) 非鉄金属(50百万円、2.9倍)
3 アメリカ (9億81百万円、6.3%)	8.7%	石炭(2億91百万円、全増) 穀物及び同調製品(1億3百万円、69.5%)
4 インドネシア (8億57百万円、8.4倍)	7.6%	その他の動植物性原材料(7億4百万円、全増) 木製品及びコルク製品(除家具)(91百万円、3.1倍)
5 イタリア (3億38百万円、81.5%)	3.0%	バッグ類(1億80百万円、59.0%) 非金属鉱物製品(62百万円、17.4倍)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。  
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
  - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
  - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課  
沖縄県那覇市港町 2-11-1 那覇港湾合同庁舎 3階  
TEL. 098-862-9650

令和4年5月15日に沖縄地区税関は  
発足50周年を迎えるワン！

